

2. 方法

- MSMウェブポータル (IVANCITY)

総登録者数：215,232人

出会いコーナー参加者数：4,000～5,000人

機能：チャット、ショッピング、デート、
性的パートナー探し

- レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー (LGBT) にオンラインコミュニティを提供する韓国で唯一のウェブサイト

2. 方法

- 모바일アプリまたはウェブサイトのフロントページで調査に関するバナーをクリックすると、登録メンバーを調査のページに誘導



2. 方法

研究設計とアンケート

- 横断研究
- データ収集：2016年7月20日～8月20日
- 参加要件：18歳以上、
MSMのウェブサイト登録メンバー
- アンケート：一般質問、性的指向、HIV検査
受検意思について

2. 方法

統計的分析

- 対象者の社会人口学的情報、性的指向、HIV検査の受検意思を頻度、割合、カイニ乗検定により分析した。
- ロジスティック回帰分析を実施して、HIV検査の受検意思に関連する要素を特定した。

3. 結果

- 2,915名の調査が終了し分析。
- 2,587名（88.7%）はHIV検査の受検意思があり、328名（11.3%）は受検意思なしだった。
- 表1と2は調査対象のMSMの社会人口学的情報、性的指向をまとめたものである。

3. 結果

表1. 男性から女性への性転換者 (MTF) を含む、MSMの社会人口学的統計 (n=2,915)

項目	区分	計 (%)	HIV検査受検意思あり (%)	P
性別	男性	2,904 (99.6)	2,576 (88.7)	.237
	MTF	11 (0.4)	11 (100)	
年齢	10-19	49 (1.7)	36 (73.5)	<.001
	20-29	1,700 (58.3)	1,529 (89.9)	
	30-39	793 (27.2)	712 (89.8)	
	40-49	317 (10.9)	266 (83.9)	
	≥ 50	56 (1.9)	44 (78.6)	
婚姻状況	既婚	70 (2.4)	62 (88.6)	.875
	未婚	2,645 (90.7)	2,349 (88.8)	
	別居/離婚	35 (1.2)	29 (82.9)	
	男性と同居	154 (5.3)	137 (89.0)	
	女性と同居	4 (0.1)	4 (100)	
	死別	7 (0.2)	6 (85.7)	
都市部在住	はい	2,702 (92.7)	2,404 (89.0)	.174
	いいえ	213 (7.3)	183 (85.9)	

3. 結果

表1. MTFを含むMSMの社会人口学的統計 (n=2,915) (続き)

項目	区分	計 (%)	HIV検査受検 意思あり (%)	P
宗教	無宗教	1,926 (66.1)	1,722 (89.4)	.57
	仏教	326 (11.2)	285 (87.4)	
	キリスト教	421 (14.4)	369 (87.6)	
	カトリック	228 (7.8)	198 (86.8)	
	その他	13 (0.4)	12 (92.3)	
教育	高卒以下	982 (33.7)	873 (88.9)	.853
	大卒以上	1,933 (66.3)	1,714 (88.7)	
職業	専門職	455 (15.6)	414 (91.0)	.176
	経営者・政府高官	67 (2.3)	58 (86.6)	
	公務員	665 (22.8)	597 (89.8)	
	営業	104 (3.6)	90 (86.5)	
	サービス業	389 (13.3)	346 (88.9)	
	製造・機械運転	181 (6.2)	151 (83.4)	
	農業	13 (0.4)	10 (76.9)	
	無職	821 (28.2)	729 (88.8)	
	パートタイム	160 (5.5)	142 (88.8)	
	その他	59 (2.0)	49 (83.1)	

3. 結果

表1. MTFを含むMSMの社会人口学的特徴 (n=2,915) (続き)

項目	区分	計 (%)	HIV検査受検 意思あり (%)	P
月収 ^a (米ドル, \$)	0-1,000	772 (26.7)	683 (88.5)	.965
	1,000-2,000	661 (22.8)	587 (88.8)	
	2,000-3,000	767 (26.5)	687 (89.6)	
	3,000-4,000	401 (13.8)	354 (88.3)	
	4,000-5,000	137 (4.7)	121 (88.3)	
	≥ 5,000	159 (5.5)	139 (87.4)	
アルコール摂取	摂取なし	634 (2.7)	563 (88.8)	.965
	摂取あり	2,281 (78.3)	2,024 (88.7)	
喫煙	吸わない	1,744 (59.8)	1,536 (88.1)	.160
	吸う	1,171 (40.2)	1,051 (89.8)	
定期的な運動	定期的な運動なし	923 (31.7)	797 (86.3)	.005
	定期的な運動あり	1,992 (68.3)	1,790 (89.9)	
主観的健康観	非常に悪い	43 (1.5)	36 (83.7)	.018
	悪い	449 (15.4)	389 (86.6)	
	普通	1,668 (57.2)	1,494 (89.6)	
	良い	639 (21.9)	574 (89.8)	
	非常に良い	116 (4.0)	94 (81.0)	

3. 結果

表2. MTFを含むMSMの性的特徴 (n=2,915)

項目	区分	計 (%)	HIV検査受検 意思あり (%)	P
性的 指向	ホモセクシャル	2,276 (78.1)	2,045 (89.9)	.002
	バイセクシャル	621 (21.3)	526 (84.7)	
	その他	18 (0.6)	16 (88.9)	
過去 6ヶ月間 の性 的パ ートナ ー	男性のみ	2,193 (75.2)	1,997 (91.1)	<.001
	主に男性、ときに女性	123 (4.2)	112 (91.1)	
	男性も女性も	53 (1.8)	44 (83.0)	
	女性のみ	18 (0.6)	13 (72.2)	
	主に女性、ときに男性	43 (1.5)	37 (86.0)	
	性的パートナー無し	485 (16.6)	384 (79.2)	
関係 状況	定期的・不定期パートナー無し	1,212 (41.6)	1,030 (85.0)	<.001
	決まった一人のパートナーとの関係	671 (23.0)	612 (91.2)	
	決まった複数パートナーとの関係	72 (2.5)	67 (93.1)	
	決まった一人または複数パートナーとの関係を維持、ときに不定期パートナーとの関係あり	269 (9.2)	246 (91.4)	
	決まったパートナー無し 時に出会いによる関係 (オープンな関係)	691 (23.7)	632 (91.5)	

3. 結果

- 単変量解析の結果、年齢 ($p < .001$) , 定期的な運動 ($p = .005$) , 主観的健康観 ($p = .018$) , 性的指向 ($p = .002$) , 過去6ヶ月間の性的パートナー ($p < .001$) , 関係状況 ($p < .001$) がHIV検査の受検意思に関係していることが明らかになった。(表1 & 2)
- 下記の要素を含んだ二項ロジスティック回帰分析を行った: 年齢、主観的健康観、定期的な運動、性的指向、過去6ヶ月間の性的パートナー、その関係状況。
- 二項ロジスティック回帰分析の結果、HIV検査を受ける意思に関連する複数の要素が特定された。(表3)

表3. MTFを含むMSM対象者 (n=2915) のHIV検査に影響する諸要素



項目	対象区分	種別	aOR	95% CI	P
年齢	10-19	20-29	1.19	0.47-3.01	0.72
		30-39	0.40	0.20-0.78	0.01
		40-49	0.44	0.22-0.88	0.02
		≥ 50	0.74	0.36-1.54	0.42
定期的な運動	定期的な運動なし	定期的な運動あり	1.34	1.04-1.74	0.02
主観的健康観	普通	非常に悪い	0.49	0.30-0.83	0.007
		悪い	0.71	0.27-1.89	0.50
		良い	0.61	0.35-1.08	0.09
		非常に良い	0.52	0.30-0.90	0.02
性的指向	ホモセクシャル	バイセクシャル	1.15	0.25-5.34	0.86
		その他	1.56	0.33-7.31	0.58
過去6ヶ月間の性的パートナー	男性のみ	主に男性、ときに女性	0.47	0.35-0.63	< 0.001
		男性も女性も	0.39	0.20-0.78	0.007
		女性のみ	0.74	0.34-1.65	0.47
		主に女性、ときに男性	1.15	0.39-3.43	0.80
		性的パートナー無し	0.61	0.24-1.54	0.29
関係状況	決まった一人のパートナーとの関係を維持する	決まった複数パートナーとの関係を維持する	1.63	1.18-2.25	0.003
		決まった一人または複数パートナーとの関係を維持、ときに不定期パートナーとの関係あり	0.90	0.34-2.35	0.83
		決まったパートナー無し、時に出会いによる関係 (オープンな関係)	1.20	0.72-2.00	0.49
		定期的・不定期パートナー無し	1.14	0.77-1.68	0.51

3. 結果

- 10-19歳グループと比較して、30-39歳グループ (aOR : 0.40、95% CI : 0.20-0.78) 、40-49歳グループ (aOR : 0.44、95% CI : 0.22-0.88) は検査を受けない傾向があった。
- 定期的な運動をしていないグループに比べ、定期的な運動をしているグループ (aOR : 1.34、95% CI : 1.04-1.74) はHIV検査を受ける意思が強かった。
- 主観的健康観「普通」のグループに比べ、「非常に悪い」 (aOR : 0.49、95% CI : 0.30-0.83) と「非常に良い」 (aOR : 0.52、95% CI : 0.30-0.90) グループは、HIV検査を受けたいと思わない傾向があった。
- 男性のみと性交渉を持つグループにくらべ、「主に男性、ときに女性」と性交渉しているグループ (aOR : 0.47、95% CI、0.35-0.63) や、「男性も女性も同様に」性交渉しているグループ (aOR : 0.39、95% CI、0.20-0.78) は、HIV検査を受けない傾向にあった。
- 複数の決まった相手と関係を維持しているグループ (aOR : 1.63、95% CI : 1.18-2.25) は、決まった一人のみのパートナーとの関係を維持しているグループよりもHIV検査を受けようという意思が強かった。

4. 限界

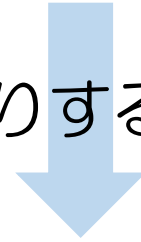
- オンラインLGBTコミュニティの登録メンバーのみが対象であった。
- 個人プライバシーにかかわる性的指向に関しては、結果の信頼性に問題があり、また対象者は無記名のため、この層の過小回答の可能性がある。
(ドナルド・トランプの隠れ支持者がいましたね！)
- 主観的健康観を単一項目で評価させたこと。対象者の特徴ごとに自己評価の健康状態は異なってくるかもしれない。

4. 協議と結論

- HIV検査の受検意思は中年層、定期的な運動をしているグループ、主観的健康観（非常に良い、あるいは非常に悪い）そしてバイセクシャルな志向と関連があった。



HIV検査を受けたり人に勧めたりするためには、健康に対する一般的関心が重要である。



HIV感染の拡散を防ぐためには、MSMは韓国において重要な対象層である。

- 韓国のMSM層の特性を評価した初めての研究となった。

ご清聴ありがとうございました